

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	株式会社 静岡博報堂
テーマ名	静岡茶を元気にしよう！

授業目標	<p>大テーマは、静岡茶の復権！ 静岡東急スクエア内『and KITCHEN(アンドキッチン)』や、街中のお茶屋さんなどを得意先として想定し、具体的な施策を提案。アイデアの具現化を目指す。</p>
学生へ期待する変化	<ul style="list-style-type: none"> ・今まであまり気にしていなかった「静岡茶」の価値に改めて向き合う。 ・オリンピックを前にお茶(静岡茶)を静岡の観光資源として意識づけ、若い世代を取り込むためのアイデアを自分ごととして考える。 ・授業を通して、考えるクセ、考える術、伝える力を身に付けながら、それぞれの「地元愛」につなげる。

授業概要	<p>★講義を交えながらチームでのワークショップ形式の授業をメインに。学生の年齢に近い社員がチームに加わることで、スムーズな進行を目指す。</p> <p>○現状分析＋静岡茶の強みの洗い出し 他の地域のお茶や、他の飲料、県内のお土産物全般など、あらゆる競合視点から静岡茶が抱える課題や独自の強みを考える。座学だけでなく、店舗への現場取材など、フィールドワークも取り入れる。</p> <p>○広告会社(博報堂グループ)ならではのプランニングにふれる 課題を解決するための、新しいアイデアを考え、協力企業へプレゼンテーション。その過程で、発想の仕方、企画書の作り方、プレゼンテーションの仕方などを学ぶ。アイデアは、商品、サービス、イベント、売り方等、ジャンル問わず自由に発想。</p> <p>○協力企業とアイデアの実施 話題になるプロモーションを企画し、実施する。(and KITCHEN、竹茗堂、小川園などを想定)</p> <p>○最終発表 アイデアの具現化を目指し、考察や今後の展望など、他チームと知見が共有できるような発表を目指す。</p>
------	--

■授業計画(時間はいずれも12:45～14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1(月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方、テーマプレゼン等)	授業の目的と目標、受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15(月)	静大共通 L204・305	課題オリエン、プランニング入門	チーム目標の共有＋プランニング基礎知識の習得	お茶の事例を調べる	
3	10/22(月)	静大共通 L204・305	課題の共有・事例紹介	インプット力の向上	家族・友人へヒアリング	
4	10/29(月)	静岡中心市街地	店舗視察&店員へヒアリング	ネットにはない、リアル情報の収集	静岡茶の課題強みの分析	
5	11/5(月)	静大共通 L204・305	クリエイターによる講義 アイデア出しWS	発想力の向上	アイデア10案	
6	11/12(月)	静大共通 L204・305	アイデア共有＋整理	発想力＋情報整理力をつける	中間発表準備	
7	11/19(月)	静岡大学	中間報告会 (現状の進行確認、これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	発表準備	大学進行授業
8	11/26(月)	静大共通 L204・305	アイデア作成	企画力の向上	企画実現準備	
9	12/3(月)	静大共通 L204・305	プレゼン準備	企画書作成力の向上	プレゼン準備	
10	12/10(月)	協力企業	プレゼン	仲間と協力し、アイデアを的確に伝える	フィードバックの反映	
11	12/17(月)	協力企業	再プレゼン	修正力の向上	振り返り＋お礼	
12	1/7(月)	静大共通 L204・305	アイデア具現化準備	具現化に向けた作業	具現化準備	
13	1/15(火)	静大共通 L204・305	アイデア具現化準備	具現化に向けた作業	具現化準備	
14	1/21(月)	静大共通 L204・305	振り返り会準備	発表資料作成力の向上	振り返り会準備	
15	1/28(月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する	発表準備 振り返りシート記入	大学進行授業

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店
テーマ名	ビジネスしよう！ ～シュミレーションカンパニーで地域活性化～

授業目標	※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？ ・「シュミレーションカンパニー」を作って地域活性化のアイデアを松坂屋店長に提案、実現に向けたプロセスを完成させる。
学生へ期待する変化	※15回を終えるときにどう変化してもらいたいのか？ ・地域活性化と会社の役割について理解を深めてもらう。 ・「地域の価値を高める取組み」をよりリアルな感覚として身近に感じてもらう。 ・アイデアを実行に移すプロセスを理解する。

授業概要	<p>賑わいのある街づくりには、「新しい発想」と「実現させる行動」が必要です。また、一言で「賑わい」と言っても「物を売る」「イベントを行う」など、そのアイデアは多種多様ではないでしょうか。</p> <p>本講座では「おまちの価値をあげるには？」をテーマに、街の活性化の第一歩を松坂屋静岡店社員と一緒に学びます。さらに、それを実行するためには「こんなことをするんだ」を体験していただくことまで考えています。 皆さんの「シュミレーションカンパニー」を作って出来る限りリアルを実行しましょう！</p> <p>前半では地域活性化と企業の役割、「街の価値をあげる取組」を考えます。松坂屋の若手社員と一緒に「どんな人に、どんなことをテーマに、何をしたらいいだろう？」、「それを実行するにはどうすればいいだろう？」をグループワークを交えながら考えます。</p> <p>後半では皆さんの「シュミレーションカンパニー」を作って「取組内容」を当社店長に売り込んでいただきます。アイデアが実現するかは皆さんの提案次第！</p>
------	--

■授業計画(時間はいずれも12:45～14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1(月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方、テーマプレゼン等)	授業の目的と目標、受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15(月)	静岡大学	地域活性化と松坂屋の現状	地域活性、環境、松坂屋の現状を理解する		
3	10/22(月)	静岡大学	マーケティング戦略、プロモーション戦略と課題整理	現状の取組を理解する	アイデアを3つ考えてくる	
4	10/29(月)	静岡大学	おまちの魅力をあげる取組みを考える(1)	アイデアの創出、メンバー間の共有	アイデアを絞り込んでくる	
5	11/5(月)	静岡大学	おまちの魅力をあげる取組みを考える(2)	アイデアの絞込み、課題整理、実行可能性をさぐる	発表資料案を作成	
6	11/12(月)	静岡大学	チーム編成、中間報告会の準備	効果的な説明方法を理解する	発表資料の作成	
7	11/19(月)	静岡大学	中間報告会(現状の進行確認、これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	発表準備	大学進行授業
8	11/26(月)	静岡大学	ビジネスプランを学ぶ(アイデアを実行に移すには)	実行に移すために抑えるポイントを共有		
9	12/3(月)	松坂屋静岡店	松坂屋でリアルな体験	実際に体験する		
10	12/10(月)	静岡大学	プランの作成(1) シミュレーションカンパニー設立	社会人と連携し、リアルな計画を作成する		
11	12/17(月)	静岡大学	プランの作成(2)	社会人と連携し、リアルな計画を作成する		
12	1/7(月)	静岡大学	プランの作成(3) プレゼン準備	社会人と連携し、リアルな計画を作成する		
13	1/15(火)	松坂屋静岡店	松坂屋店長へのプレゼン	社会人へのフィードバック、修正点、留意点の気づきを学ぶ		
14	1/21(月)	静岡大学	実行プロセス(チーム作業)			
15	1/28(月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する	発表準備振り返りシート記入	大学進行授業

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	NECネットエスアイ(株)静岡支店
テーマ名	ICTを活用し、会議から働き方を変える
授業目標	<p>※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？</p> <p>①自分が実現したい「働き方」を言葉にする。 ②「会議改革実践10のコト」をパンフレットとして纏める。 ③静岡市内企業へ会議改革に関するプレゼンテーションを行い、企業側から率直なフィードバックを獲得する。(学生側、企業側双方で気づきを得る)</p>
学生へ期待する変化	<p>※15回を終えるときにどう変化してもらいたいのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後、自分自身がどうやって働きたいか、イメージを生み出す 課題を自ら発見し、解決に向けて主体的に考え、周囲を巻き込みながら行動する力を身につける。 プレゼンテーションの経験を積むことで今後に役立てる。
授業概要	<p>※どんな授業内容か？</p> <p>①インプットフェーズ(調べる、考える、何か気づく、疑問に思う)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革って？会議って？どんな変化を起こせばどんな良いことがある？まずはゼロベース思考で考え(調べ)、気づきや疑問を得る。 市内企業へ訪問し実際(リアル)の話聞いてみる。 ※当社からは適宜情報提供を行いながら思考や議論を支援する。 <p>②まとめ/アウトプットフェーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を自分たちなりに仮説してみる。中間報告できるよう資料化する。 考えた解決策をグループ試行し改善する。最終アウトプットを作成する。 話を伺った企業へ再訪問し、プレゼンする。フィードバックを得る。 <p>・Zoom(Web会議システム)を適宜活用。 ・基本的には、2名で対応し、参加不可の場合は補助として、交代要員が対応。</p>

■授業計画(時間はいずれも12:45~14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1(月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方、テーマプレゼン等)	授業の目的と目標、受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15(月)	静岡大学	テーマ設定の趣旨を説明グループ分けしプレスト	働き方、会議について自分たちなりの考えと疑問を持つ	働き方改革に関する新聞記事を持参	
3	10/22(月)	静岡大学	企業が会議する目的や意味を話し合う	会議を理解するそもそも会議って何	企業へ聞きたいこと	
4	10/29(月)	静岡大学	企業へヒアリングする内容を定める	知りたいことを聞き出せるストーリー	想定回答心の準備	
5	11/5(月)	市内企業	市内企業(大学職員)へ会議についてヒアリング	会議の実際を理解し問題点を把握する	ヒアリング結果纏めと考察	
6	11/12(月)	静岡大学	問題点からその原因を仮説し課題を設定する	問題と課題の違い課題把握の実践中間報告準備	発表資料仕上りリハーサル	
7	11/19(月)	静岡大学	中間報告会(現状の進行確認、これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	発表準備	大学進行授業
8	11/26(月)	静岡大学	課題を解決できる対策を話し合う	課題解決策の立案	模擬会議準備テーマ設定	
9	12/3(月)	静岡大学	模擬会議の実践①(体感)	課題を意識する/しない場合の違いを体感	自身が感じたことを作文	
10	12/10(月)	静岡大学	模擬会議の実践②(ブラッシュアップ)	課題を強く意識し解決策を磨き期待効果を打ち出す	パンフレット企画案	
11	12/17(月)	静岡大学	解決策の実現性検討パンフレットの企画	前提や制約、効果で優先度を設定する	パンフレット素案作成	
12	1/7(月)	静岡大学	グループで一つのパンフレットを作成	共創ワーク実践訴求ポイント整理	パンフレット作成	
13	1/15(火)	静岡大学	パンフレットの仕上げ	最終アウトプット	プレゼンリハーサル	
14	1/21(月)	市内企業	市内企業(大学)へ会議改革実践を提案	フィードバック獲得相互の気づき獲得	振り返り会準備	
15	1/28(月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する	発表準備振り返りシート記入	大学進行授業

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	株式会社 静岡情報処理センター (SIC)
テーマ名	市民に変化を起こすICT活用を提案しよう
授業目標	※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？ 静岡の人々が「良い行動」をするための促しのアイデアと、そのアイデアがより生かされるために効果的なICT活用について、調査・課題解決プランを自治体へプレゼンテーションする
学生へ期待する変化	※15回を終えるときにどう変化してもらいたいのか？ 自身もひとりの人間として、人を、環境を大事に考え、社会に貢献するために大学で学んでいると再認識して欲しい
授業概要	※どんな授業内容か？ 前半 当社より、人に楽しんで頂いて良い方向へと促す事例を紹介し、身近な処から他にも改善、向上に向けたいことが有るのではという課題認識をする。 中盤 いくつかの課題が出てきたら、より効果が望めるものにターゲットを絞り、興味を持って(楽しんで)促せる方法を考える。 後半 更に、ICTの効果的な活用を検討し、開発の疑似体験でアプリケーションを作成する。 現時点では2名で実施する予定だが、後半部分は必要に応じて技術者社員を参加させる可能性が有る。

■授業計画(時間はいずれも12:45~14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1 (月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方、テーマプレゼン等)	授業の目的と目標、受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15 (月)	静岡大学	事例紹介(健康マイレージ)	これから企画していく方針確認	改善候補1点	
3	10/22 (月)	静岡大学	校内調査および街調査の検討	注意力・課題認識 調査ターゲットの確定	街調査の準備	
4	10/29 (月)	静岡中心市街地 等	街調査	注意力・課題認識 街の改善点を見つける	調査結果のまとめ	
5	11/5 (月)	静岡大学	調査結果の共有とターゲット検討討議	優先順位・費用対効果 ターゲットの確定	中間報告のまとめ方検討	
6	11/12 (月)	静岡大学	中間報告資料作成	プレゼン力 中間報告資料	「良い行動」の促しの方法検討	
7	11/19 (月)	静岡大学	中間報告会(現状の進行確認、これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	中間発表振り返りまとめる	大学進行授業
8	11/26 (月)	静岡大学	要件整理:「良い行動」の促しの方法検討討議	発想力 促し方法の確定	ICT活用方法の検討	
9	12/3 (月)	静岡大学	基本設計:ICT活用方法の検討討議	発想力 ICT活用方法の確定	画面や流れなどの検討	
10	12/10 (月)	静岡大学	外部設計:画面や流れなどの検討討議	開発疑似体験 システムの確定	画面や流れなどの再確認	
11	12/17 (月)	静岡大学	製造:アプリケーション作成(但し、できる範囲で)	開発疑似体験	進捗補完	
12	1/7 (月)	静岡大学	製造:アプリケーション作成(但し、できる範囲で)	開発疑似体験 アプリケーション	デモ準備	
13	1/15 (火)	静岡大学	デモおよびプレゼン資料作成	プレゼン力 プレゼン資料	プレゼン準備	
14	1/21 (月)	静岡大学or 当社会議室	プレゼン(自治体or当社) 最終発表資料作成	他者意見の受入れ 最終発表資料	発表資料の完成	
15	1/28 (月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する	発表準備 振り返り シート記入	大学進行授業

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	静岡大学 須藤研究室
テーマ名	地域活性化に繋がるシニア向けスマートフォン講習会を企画しよう！

授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 地域における情報化社会, 高齢社会の問題を理解し, それらの問題を踏まえて地域課題を見いだせるようになる。 高齢者にとっての情報機器の使いやすさの問題を理解できるようになる。 高齢者のスマートフォンの学習を支援する方法を考え, 最終的にスマートフォン講習会を企画, 実施する。
------	--

学生へ期待する変化	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通して, 心理学の基本的な研究の方法論を学び, 各自の研究分野に応用できるようになる。 各自の研究で, 地域, 社会の問題をテーマにどのように組み込むのか考えられるようになる。 多様な人たち(シニア, 企業の方々)とのインタラクションを通じ, 本当のコミュニケーション力とは何かを考えられるようになる
-----------	---

授業概要	<p>本授業では, 最終的に大学生が開催可能な, 「高齢者のスマートフォン講習会」を開発し, 誰でも実施できるようにパッケージ化を行います。最終的に, 授業に参加した学生が, 静岡市街地で講習会を開催し, 効果測定等を行います。その結果については, 携帯電話事業者にフィードバックします。</p> <p>本企画は, 須藤研究室の共同研究の一環として実施します。</p> <p>授業の流れは以下の通りです</p> <ol style="list-style-type: none"> 高齢社会についての基礎学習 シニア向けスマートフォンの問題・課題について学習 シニア向けスマートフォン講習会の企画 スニア向けスマートフォン講習会の実施 <p>途中で, 携帯電話事業者の関係者へのプレゼン等を実施する可能性があります</p>
------	---

■授業計画(時間はいずれも12:45~14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1 (月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方, テーマプレゼン等)	授業の目的と目標, 受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15 (月)	研究室 A棟5F	高齢社会に関する学習	基礎学習		
3	10/22 (月)	研究室 A棟5F	高齢者にとっての使いやすさとは?	基礎学習		
4	10/29 (月)	研究室 A棟5F	シニア向けスマホ講習会に関する学習+企画立案	基礎学習		
5	11/5 (月)	研究室 A棟5F	シニア向けスマホ講習会に関する学習+企画立案	予備調査の実施を通して, シニアのスマホ利用の現状を知る	レジュメ作成	フィールド調査
6	11/12 (月)	研究室 A棟5F	街頭調査計画の立案+中間報告の準備	企画案の言語化, プレゼン準備		
7	11/19 (月)	静岡大学	中間報告会(現状の進行確認, これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	中間発表振り返りまとめる	大学進行授業
8	11/26 (月)	研究室 A棟5F	街頭調査のデータ分析	調査データを生理しシニアのスマホ支援の方法を考える		
9	12/3 (月)	研究室 A棟5F	講習会の計画	講習会の企画・実施	レジュメ作成	
10	12/10 (月)	研究室 A棟5F	講習会の計画	講習会の企画・実施		
11	12/17 (月)	研究室 A棟5F	講習会の計画	講習会の企画・実施		
12	1/7 (月)	研究室 A棟5F	講習会の計画	講習会の企画・実施		
13	1/15 (火)	研究室 A棟5F	講習会の準備	講習会の企画・実施		
14	1/21 (月)	市街地	講習会の実施	講習会の企画・実施		講習会実施
15	1/28 (月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい, 自分自身の成長を実感する	発表準備振り返りシート記入	大学進行授業

平成30年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

■基礎情報

企業・団体名	宇賀田研究室
テーマ名	大学生の、大学生による、大学生のための シングルペアレント支援セミナープログラムを開発しよう

授業目標	※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？ ・大学生のための、大学生が運営するシングルペアレント支援セミナープログラムを開発する
学生へ期待する変化	※15回を終えるときにどう変化してもらいたいのか？ ・社会課題やそれに取り組む団体との出会いを通じ、地域や社会に目を向ける力を養う

授業概要	<p>●静岡を中心にシングルペアレント(ひとり親)支援に取り組む「シングルペアレント101」との協働授業です●</p> <p>2011年時点でひとり親家庭は146万世帯。当時の割合でいえば、「100世帯のうち7世帯」がひとり親家庭です。現在に至るまで増加傾向にあり、国をあげて支援施策を打ち出し進めています。しかし一方で、ひとり親家庭になる「前」の支援は、国も民間企業でもほとんど揃っていないのが日本の現状。「どこに相談していいのか分からない。何から始めたらいいのか分からない。」そういった当事者の声を受けて、シングルペアレント101ではプレシングルマザー支援や相談支援に取り組んでいます。</p> <p>「自分には関係ない」と大学生は思うかもしれませんが、実は社会に出てから自分がどう生きるか、働くか？という点でキャリアデザインと密接に関わっています。この授業では、シングルペアレント101と協働で、大学生向けのシングルペアレント支援につながるキャリアデザイン・セミナープログラムの開発を行います。</p> <p>①社会課題が生まれる構造・原因を理解、②プログラム開発、③プログラムトライアル、④修正・完成という4段階で進んでいきます。 ひとり親家庭の問題を解消できるようなセミナープログラムを、みなさんの力で生み出しませんか？</p>
------	---

■授業計画(時間はいずれも12:45~14:15)宿題の日安は1回2時間です

回数	日付	場所	内容	狙い・ゴール	次回までの宿題	備考
1	10/1 (月)	静岡大学	ガイダンス(授業の受け方、テーマプレゼン等)	授業の目的と目標、受講方法を理解する	まちを見る着眼点を決める	大学進行授業
2	10/15 (月)	静岡大学	シングルペアレントが置かれる現状・問題理解	テーマとなるシングルペアレントの現状を理解する	シングルペアレントに関する記事調査	
3	10/22 (月)	静岡大学	実際の当事者の声を理解する(プレシングルマザー手帖から)	当事者の日常を理解する	当事者の現状から感じたこと	
4	10/29 (月)	静岡大学	プログラムの企画方法	プログラムの理解・企画方法を知る	自分なりにワークショップを考えてみる	
5	11/5 (月)	静岡大学	プログラムの企画方法	プログラムの理解・企画方法を知る	中間報告に必要な素材準備	
6	11/12 (月)	静岡大学	中間報告準備	前半の学びをまとめる	中間報告資料づくり	
7	11/19 (月)	静岡大学	中間報告会(現状の進行確認、これから行うことなど)	学生同士の学びの違いを知り合う	発表準備	大学進行授業
8	11/26 (月)	静岡大学	プログラム企画	プログラムの企画を進める	各自分担を実施	
9	12/3 (月)	静岡大学	プログラム企画	プログラムの企画を進める	各自分担を実施	
10	12/10 (月)	静岡大学	プログラム企画	プログラムの企画を進める	各自分担を実施	
11	12/17 (月)	静岡大学	プログラム準備(リハーサル)	プログラム本番のイメージを持つ	各自分担を実施	
12	1/7 (月)	静岡大学	プログラムの実施	プログラムを実践し気づきを得る	振り返りをまとめる	※別日で振り返り予定
13	1/15 (火)	静岡大学	プログラムの振り返り	改善点の洗い出し	プログラム改善	
14	1/21 (月)	静岡大学	プログラム完成	プログラムの完成	振り返り会準備	
15	1/28 (月)	静岡大学	振り返り会	学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する	発表準備 振り返りシート記入	大学進行授業